

### 戦争は

### まっぴらだ

金安 清

(南区御池台)

大阪市立橋国民学校(西天下茶屋)へ入学したのが昭和18年。正面の校舎には大きな世界地図が描かれ、東南アジア地域、フィリピン、ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島に日本が侵攻、戦勝した日の丸が描かれ、当時の日本の強さが誇示されていた。「日本は強いぞ、これからもどんどん勝っていくぞー」。幼い1年生の自分にはそういう印象だった。日本は神の国、絶対戦争には負けない。当時の国の政策が、広く国民にPRされていた。

さて、私、8人兄弟の末っ子、12歳上の長兄は、大阪府庁に勤務していたが、昭和18年に高槻の陸軍に入隊、その後上海に派遣され、翌年19年10月に兵站病院で病死。昭和21年の夏に死亡通知が入り、大手前町の引揚館(?)へ、遺骨を母と取りに行ったことを覚えていて。その時の母の悲惨な姿が、今も自分の脳裏にある。

母の妹の家が寺地町にあり、堺の空襲で5人家族が防空壕で窒息死、自分が2年生の時だった。窒息死

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

## 寄稿 私の戦争体験 (33)

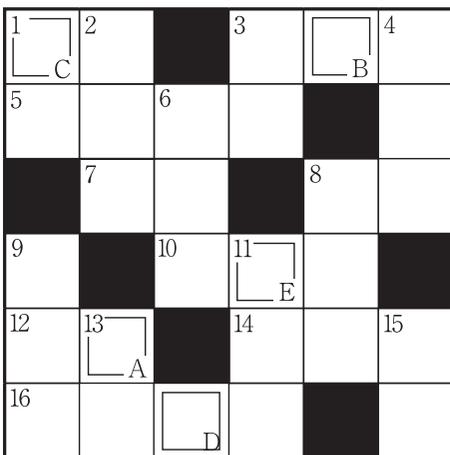
した叔母は、その1カ月前に自分の家(深井北町の大阪金属工業の社宅)に疎開で来ていて、空襲の1日前に自家に帰ってこの災難に遭った。

終戦後は食料難時代。学校から帰ってすぐ布袋を持って芋拾い。周辺の百姓家の収穫後の芋をもつ一度掘りに。米が無い時代、お芋は主食として充分その役割を果たしていた。落穂拾いもした。中学時代に入っても食料難時代は続く。昼の休み時間中に陵南中学校(陵南町)から家の社宅まで、往復約6キロを走って食べに帰った。弁当は作ってもらえなかった。他に当時の楠本先生が、弁当を米の弁当でなくパンを持って来るようにと指示されていた。生徒の多くが百姓家で、それ以外の生徒はご飯を持って来れないので、ご飯を持って来れない生徒に対しての計らいであった。

戦争は勝者も敗者も無いとよく言われているが、戦争での良い思い出は皆無だ。戦争はまっぴら、これから戦争を知らない多くの人達に伝えていくのが戦争を知っている我々の勤めであり、これから先、平和が永く続くことを祈念する今日この頃です。

## お楽しみクイズ クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



- タテのキー
- ① 病の——につく
  - ② 勢いの猛々しい虎
  - ③ 鉛筆の——を削る

- ④ 家に帰る
- ⑤ 昔のソ連の一部
- ⑥ 死ぬか生きるかの——
- ⑦ 問題
- ⑧ 死ぬか生きるかの——
- ⑨ 亜細亜
- ⑩ 塩分。——がない
- ⑪ ——に泥を塗る

- ヨコのキー
- ① 類は——を呼ぶ
  - ② 滝の——を浴びる
  - ③ 口げんか
  - ④ 話の——を折る
  - ⑤ ——八苦
  - ⑥ 前ヒレと不揃いの後ヒレで歩ける海生動物
  - ⑦ 直接。——談判
  - ⑧ 妻の対
  - ⑨ うつむけの対

●6月号の答 「ラッキョウ(らっきょう)」  
●応募数/88通

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先/〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。  
●しめきり/2019年9月11日(水)消印有効  
●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。  
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

### 短歌

マスクして帽子被りてサンングラス  
誰かわからず挨拶返す

手嶋喜代子

### 俳句

リュック背に弾む会話や帰省の子  
ぼろんぽこミロが描くよな嬰粟坊主  
浴衣着てはしゃぐ少女ら手にスマホ  
おもてなし何は無くとも先づ新茶

高野 純  
田村 美穂  
手嶋 光生  
八木 マキ子

### 川柳

真つ黒スライド廃止だ廃止底上げだ

堺谷九条男

\*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。  
\*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2019年9月11日(水)です。  
\*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

## 平和の尊さを引き継いでいくために 戦争体験をお寄せください

機関紙編集委員会では、戦争を知らない世代に平和を受け継いでいくためにも、戦争体験を募集しています。戦後74年目を迎え、戦争の経験者が少なくなり、貴重なものとなっています。編集委員会に寄せられるお手紙にも戦争体験は多くの反響があります。お寄せいただいた戦争体験を冊子にまとめて、形に残していくことも検討しています。ぜひ読者の皆さんの戦争体験をお寄せください。寄稿される方は800字位を目安にお願いします。

お問い合わせ 友の会事務局 (TEL) 072-244-8061

## クイズ・おたよりなどの 受付方法が変わります

はがき・メール・FAXでも 応募できます



7月号からクイズの応募、おたより、俳句・川柳・絵手紙などの投稿を、メール・FAXでもしていただけるようになりました。おたより、ご意見、投稿お待ちしております。

メール tomo-kenkou@mimihara.or.jp  
FAX 072-244-7860  
あて先 〒590-0821 堺市堺区大仙西町 6-184-2 「友の会事務局」

### 編集後記

堺空襲犠牲者殉難地追悼会に参加した。堺に5回の大きな空襲があり、一番被害の大きかった7月10日、1860人余の方が亡くなられた堺大空襲から74年。1986年から始まり、34回目の追悼会だった。堺空襲を体験された方のお話に心が痛む。辛い体験を、私たち戦争を知らない世代に遺すため、お話いただける勇氣に胸が熱くなる。総務省のホームページにも「一般戦災死没者の追悼」として掲載されていることを、今年知った。堺でも空襲があったことを知らない人も多いと聞く。語り継ぐことの大切さを改めて思った。「とも」連載の「私の戦争体験」も続けていかなければ…ご協力よろしくお願ひします。(明)